

高知県がん検診等事業所実態調査結果

事業所向け調査・従業員向け調査

◆ 目的

職域（事業所及び従業員）でのがん検診実施状況を把握し、第4期高知県がん対策推進計画（R6～R11）におけるがん検診の受診率向上施策の立案に活用する基礎資料を得る

◆ 調査期間

令和6年5月30日～令和6年6月19日

事業所向け調査

◆ 概要

調査対象

県内の常用雇用者数10人以上の事業所

(日本標準産業分類の「公務」、「分類不能の産業」を除く業種)

調査方法

郵送配布、郵送回答またはインターネット回答

◆ 回収結果

発送数	回収数	回収率
2,990	1,043	34.9%

※回収率 = 回収数 / 発送数

従業員向け調査

◆ 概要

調査対象
調査方法

調査対象となった事業所の従業員
郵送配布、郵送回答またはインターネット回答

◆ 回収結果

発送数	回収数	回収率
3,037	1,065	35.1%

※回収率 = 回収数 / 発送数

調査項目

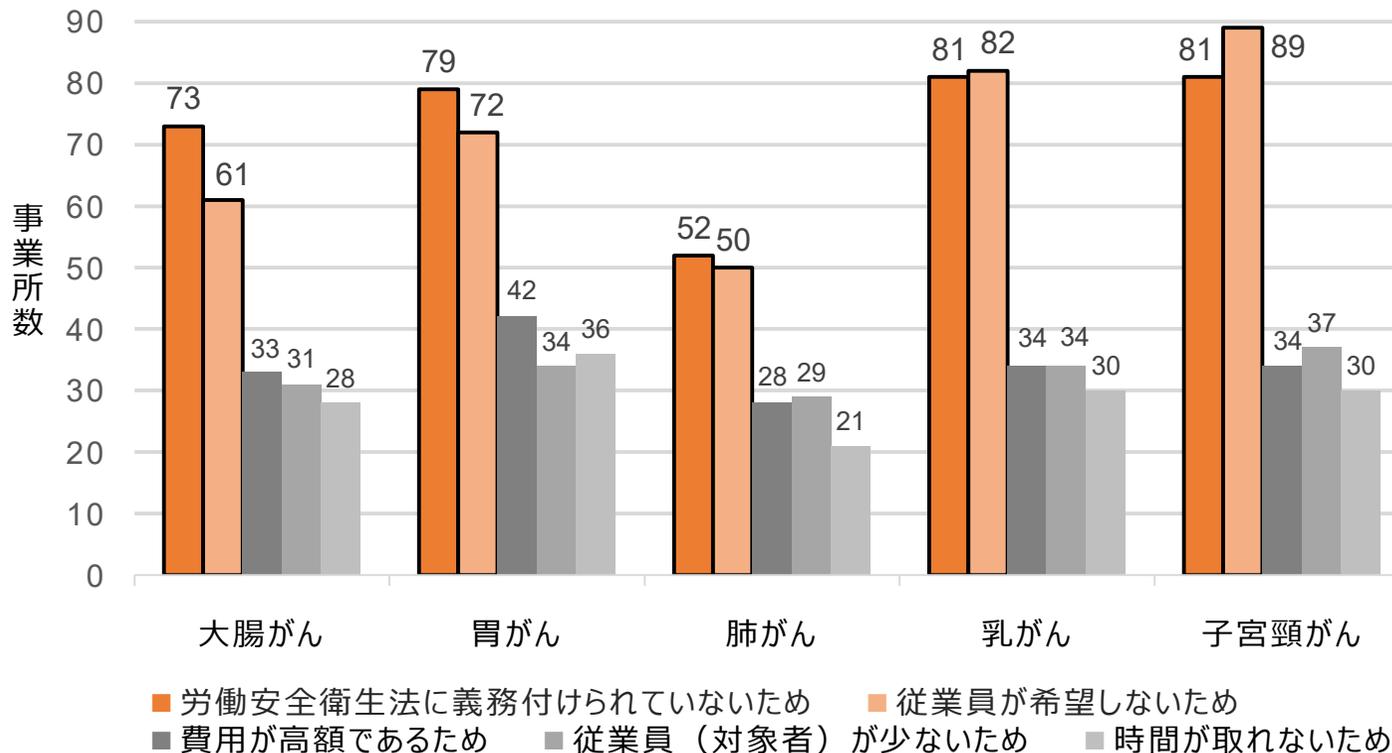
問	事業所向け (職域におけるがん検診等に関する調査)	従業員向け (従業員のがん検診の受診状況等に関する調査)
1	事業所の概要について	自身に関することについて
2	事業所でのがん検診の現状について	がんに対する印象・認識について
3	事業所でのがん検診実施後の対応について	がん検診の受診状況について
4	事業所でのがん検診の受診者数を増やす取組について	がん検診受診情報の入手経緯について
5	事業所の「治療と仕事の両立支援」に関する取組について	治療と仕事の両立支援について

調査結果の概要【事業所向け】

◆がん検診を実施しない理由（複数回答可）

「労働安全衛生法に義務付けられていないため」
「従業員が希望しないため」

が上位



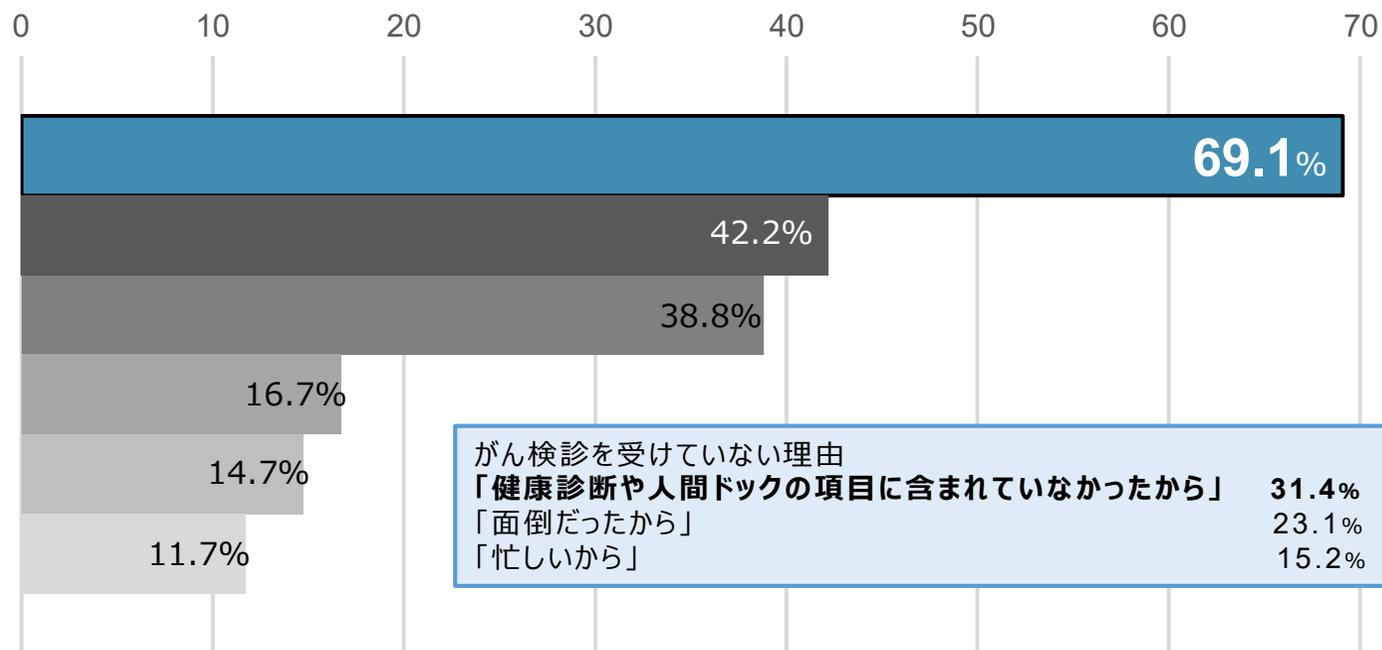
調査結果の概要【従業員向け】

検診

◆ がん検診を受診した理由（複数回答可）

7割の従業員が
「健康診断や人間ドックの項目に含まれていた」

ことがきっかけと回答

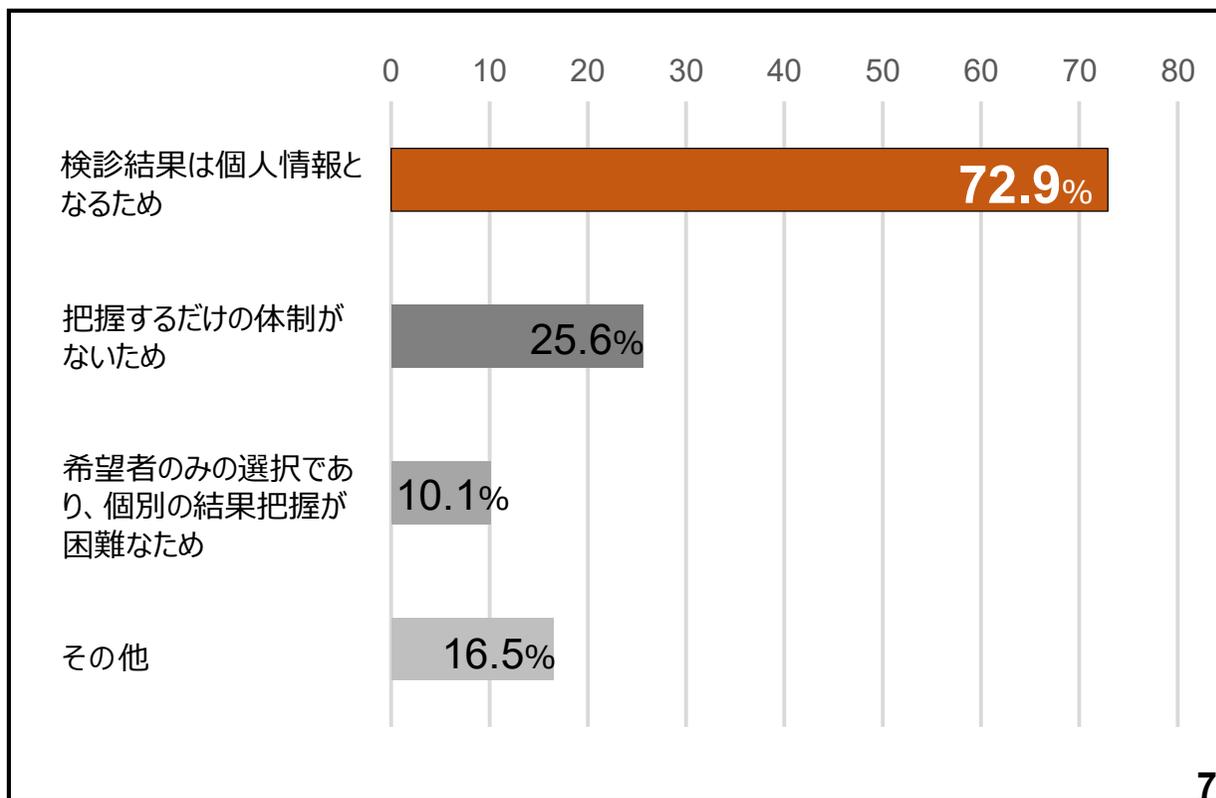
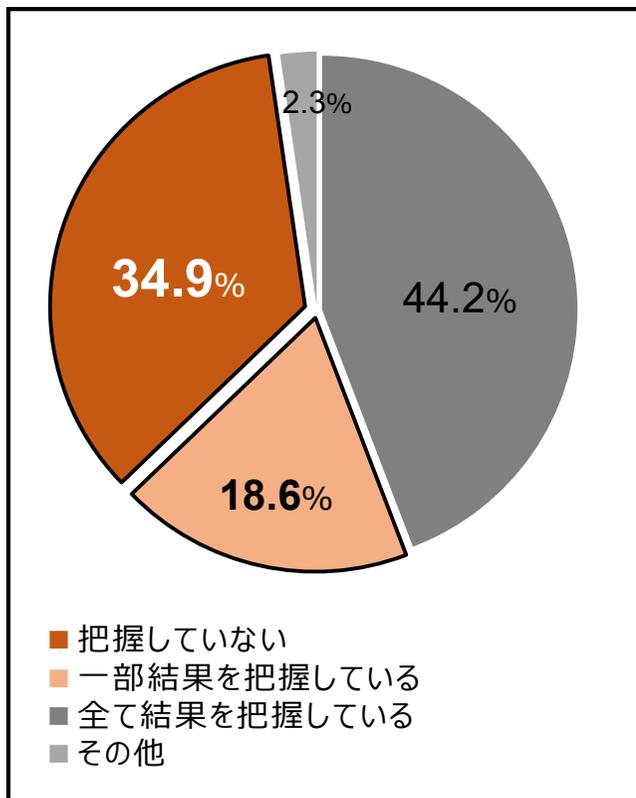


■ 健康診断や人間ドックの項目に含まれていたから ■ 自分の健康管理のため ■ 検診の対象年齢だったから
■ 職場や市町村からお知らせが来たから ■ 勤務時間中に受けられたから ■ 費用が無料だったから

◆ 従業員のがん検診結果の把握状況 従業員の検診結果を把握しない理由（複数回答可）

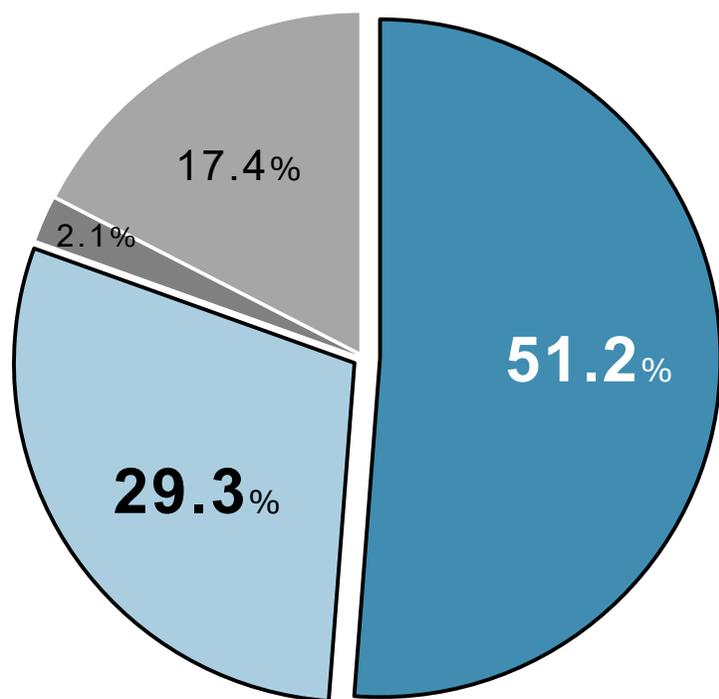
全従業員の検診結果を把握していない事業所は **5** 割以上

把握していない理由は、「**検診結果は個人情報となるため**」が 1 位



◆ 会社に検診結果を把握されることに対する考え

「抵抗がない」「知っておいてもらいたい」が約 8 割



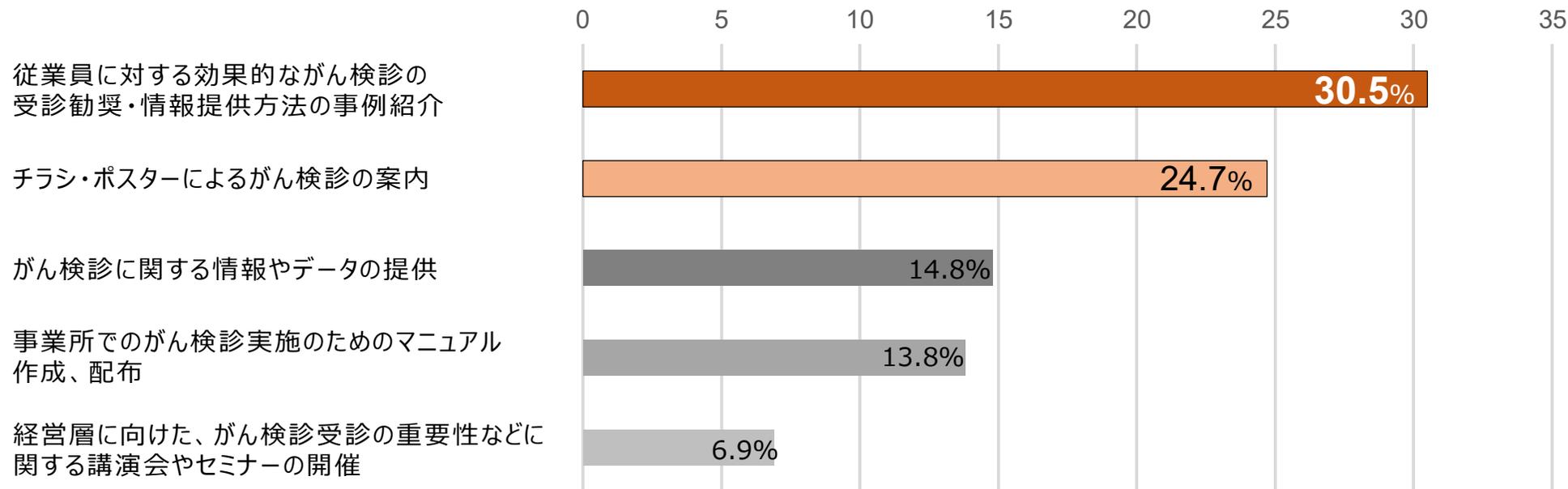
- 会社が従業員の健康状態を把握することに抵抗はない
- 抵抗はあるが、会社には知っておいてもらいたい
- 個人情報なので会社に知られたくない
- その他

調査結果の概要【事業所向け】

検診

◆事業所でがん検診受診者を増やす取組を今後実施するにあたって、行政に期待すること（複数回答可）

「好事例紹介」「チラシ・ポスター配布」が上位

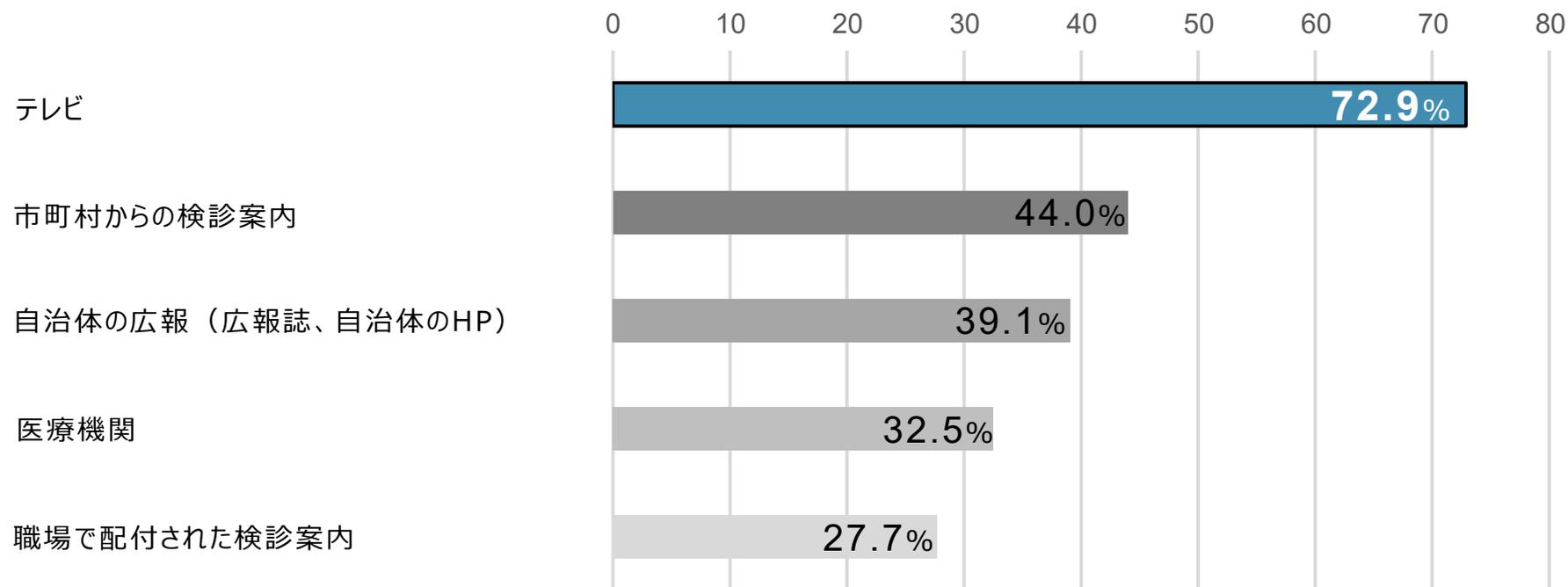


調査結果の概要【従業員向け】

検診

◆がん検診の受診を勧める情報の入手経緯①（複数回答可）

テレビが第**1**位、市町村からの検診案内が第**2**位、自治体の広報が第**3**位



調査結果の概要【従業員向け】

検診

◆がん検診受診情報の入手経緯② 〈年代別比較〉

20～30歳代は「医療機関」が上位

40～60歳代は「職場で本人あてに配布された検診案内」が理由に上がっている

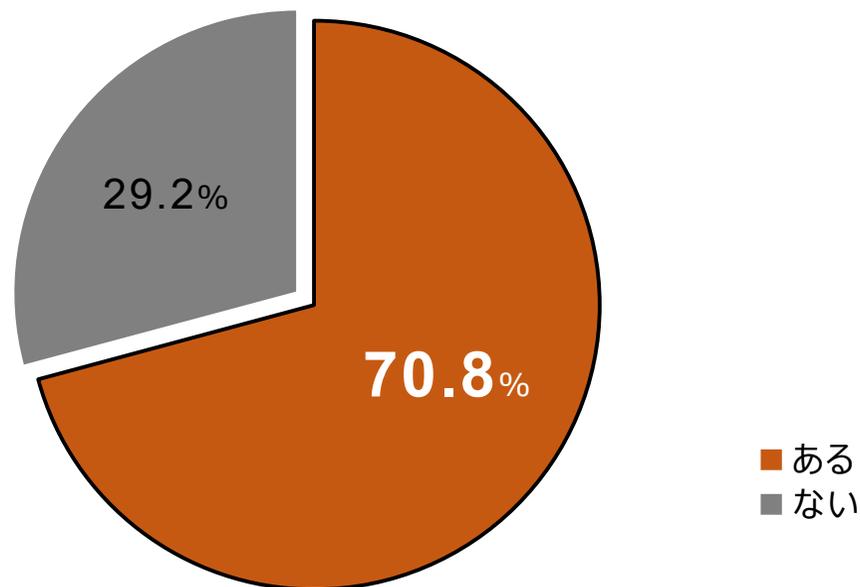
	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代	テレビ	医療機関	公共施設に設置した ポスター・チラシ等	市町村から自宅に郵 送された検診案内	自治体の広報
30歳代	テレビ	医療機関	インターネット	自治体の広報	公共施設に設置した ポスター・チラシ等
40歳代	テレビ	市町村から自宅に郵 送された検診案内	自治体の広報	医療機関	職場で本人あてに 配布された検診案内
50歳代	テレビ	市町村から自宅に郵 送された検診案内	自治体の広報	医療機関	職場で本人あてに 配布された検診案内
60歳代	テレビ	市町村から自宅に郵 送された検診案内	自治体の広報	職場で本人あてに 配布された検診案内	医療機関

調査結果の概要【事業所向け】

支援

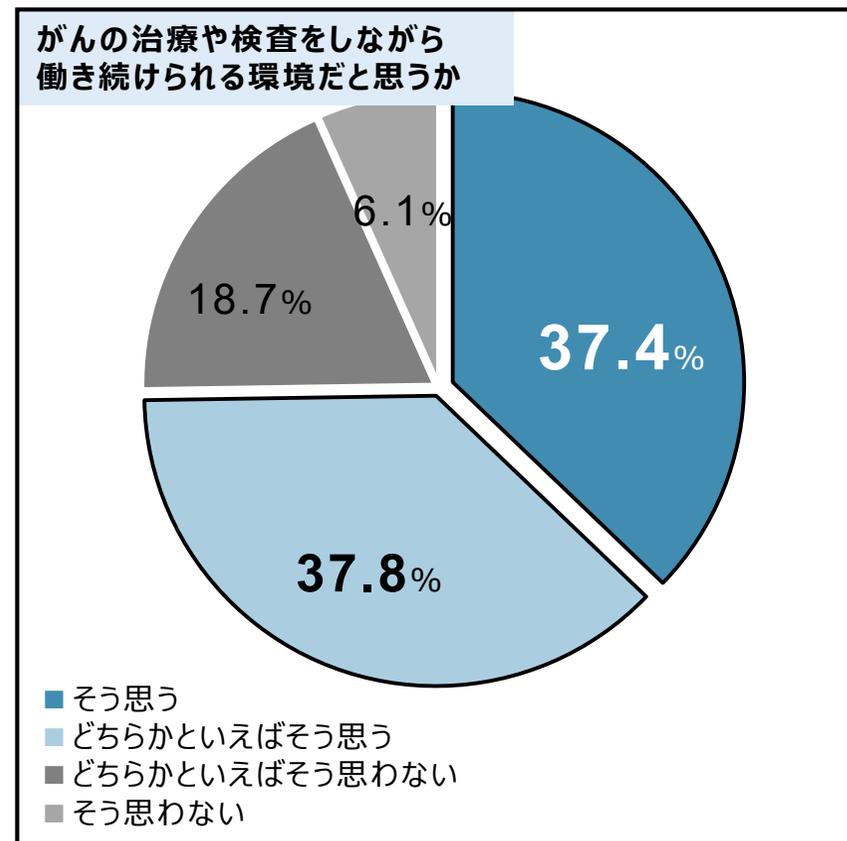
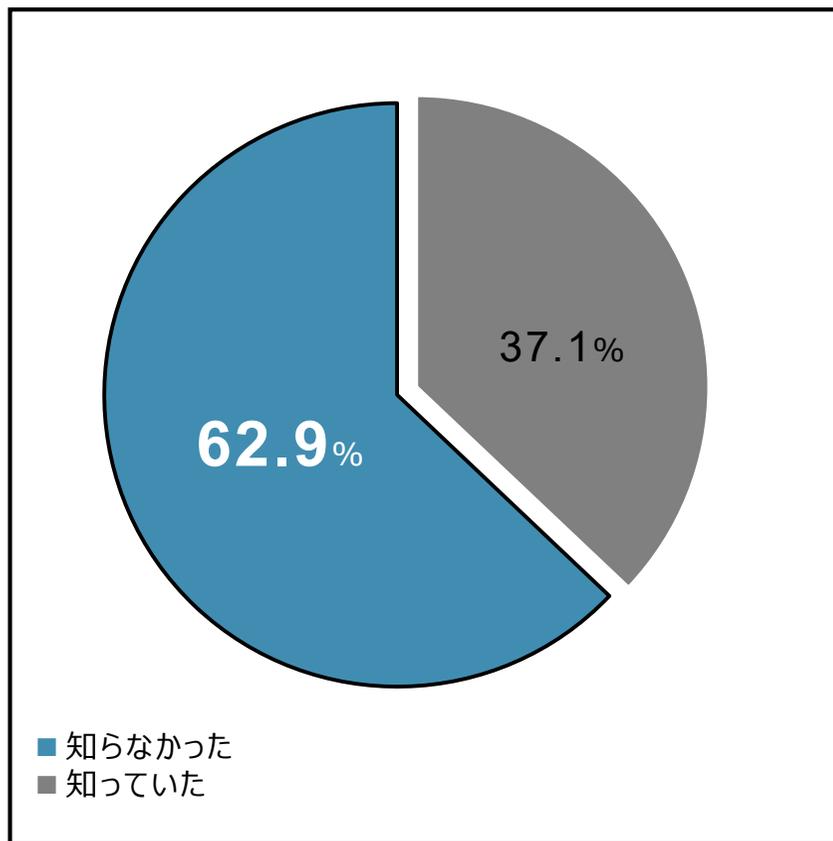
◆がん等の治療と仕事を両立できる取組

治療と仕事を両立できる取組が「ある」と答えた事業所は **7** 割以上



◆がん等の治療と仕事を両立できる取組

治療と仕事を両立できる取組を「知らなかった」と答えた従業員は **6** 割以上



調査結果の概要【事業所向け・従業員向け】

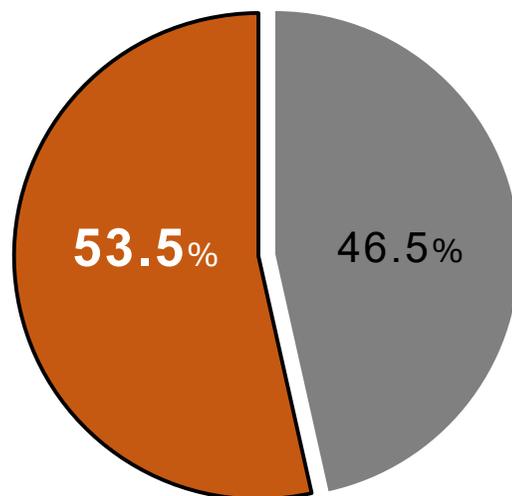
支援

◆ 相談窓口（がん相談支援センター等）の認知度

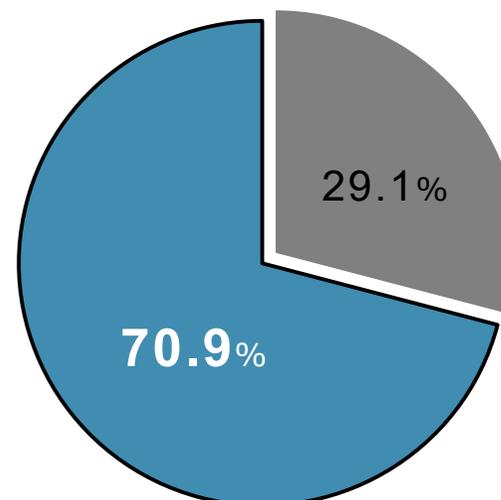
事業所の**半数**以上、従業員の**7割**が「**知らない**」と回答

【事業所向け】

※主に健康管理担当者が回答



【従業員向け】



■ 知らない
■ 知っている

調査結果を踏まえた課題

検診

- 1 検診を受けた従業員の7割が「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」と回答している。一方、検診を受けてない従業員の3割が「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていないから」と回答している
⇒**受診の掲示があれば受診を希望する従業員が一定数いることが考えられるため事業所への啓発強化及び受診機会の拡大が必要**
- 2 従業員の検診結果は「個人情報」となるため把握していない事業所が多いが従業員の8割が把握に抵抗はない・知っておいてもらいたいとしている
⇒**がん検診の結果が把握できる体制づくりの支援
その後の対応（精密検査の受診勧奨等）について、事業所の規模に応じたサポートが必要**

支援

- 1 7割以上の事業所が治療と仕事を両立できる取組をしているのに対し従業員の6割以上がその取組を「知らない」と回答している
⇒**「治療と仕事の両立支援」のための正しい知識の普及が必要**
- 2 事業所・従業員ともに相談窓口（がん相談支援センター等）の認知度が十分でない
⇒**周知において、改善が必要**

調査結果を踏まえた今後の取組

検診

事業所への啓発強化及び受診機会の拡大

- ① 検診機関や産業保健総合支援センター、医療保険者と連携し、職域に関する情報を一元化したサイトを作成、啓発ツールや具体的な受診促進事例等を掲載する
- ② 関係機関や事業者団体のHP、メールマガジン、広報誌、セミナー等を通じた周知を行う
- ③ 精密検査を受けられる医療機関リストの掲載医療機関を増やす
- ④ 検診実施が難しい事業所には、従業員の市町村検診受診を促すことを啓発する

支援

「治療と仕事の両立支援」及びがん相談窓口の周知強化

- ① 事業所向けリーフレットへ情報を掲載する
- ② 高知県版がんサポートブック掲載内容の充実、配布医療機関を増やす